

社会科学学習指導案

平成 27 年 10 月 13 日（火曜日）～11 月 6 日（金曜日） 4 年〇組 指導者

1 単元名 「ふるさとれきしまっぷ」

2 考察

(1) 教材

① 学習内容：学習指導要領の位置付け

- ・第 4 学年 2 内容(5)
- ・地域の人々の生活について、「古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子」「地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事」「地域の発展に尽くした先人の具体的事例」を見学、調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考える。

② 主な伸ばしたい資質・能力

- ・地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事への関心
- ・文化財や年中行事への愛着をもって、その保存・継承について考えようとする意欲
- ・地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事について、学習問題や予想、学習計画を考える力
- ・文化財や年中行事に込められた地域の人々の願いや保存・継承するための努力について判断する力
- ・地域の文化財や年中行事を見学・調査したり、保存・継承に携わる人から話を聞いたりして必要な情報を集める力
- ・地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事の様子や、それらには地域の生産活動やまちの発展、人々のまとまりなどへの願いが込められていることへの理解

③ そのために必要な指導・学習活動

- ・児童の気付きや課題意識を基に、単元を貫く学習課題を設定する。
- ・「群馬県の文化財の概要や文化財保護の課題の資料」を活用し、群馬県の文化財の特色や課題を調べ、理解する。
- ・「文化財保護に対する群馬県の取組の資料」を活用し、保護する取組をしなかったら文化財はどうかを考える。
- ・「地域に残る文化を受け継ぐために自分にできる取組の資料」を活用し、受け継ぐための取組のよさや大変さを考える。
- ・単元を通して学んだことを基に、地域の文化財や年中行事に込められた人々の願い、保存・継承するための努力について考え、単元を貫く学習課題についてまとめる。

④ 今後の学習の活用

- ・「養蚕の発展に尽くした人々」の学習において、だれがどのような思いや願いを持ちながら地域の生活向上のために尽くしたか、今の自分たちの生活とのつながりを意識しながら学習を展開する。

(2) 本単元に関わる児童の実態及び指導方針（男子〇名 女子〇名 計〇名）

① 既習の学習内容

- ・前単元「昔のくらし」において、道具の工夫によって人々の暮らしがどのように変わってきたのかを調べ、身の回りの古い道具には昔の人の生活の知恵や工夫が込められており、道具の変化とともに地域の暮らしも変化し、便利になってきたことを学習している。

② 本単元に関わる児童の実態及び指導方針

- ・児童は、前単元「昔のくらし」において、古くから残る暮らしにかかわる道具について学んでいる。昔の道具やそれらを使っていたころの暮らしの様子を調べることを通して、地域の人々の生活の今昔の違いや変化、過去の生活における人々の生活の知恵を考えることができた。
- ・問題解決的な学習では、意欲的に調査活動に取り組むが、社会的事象の事実を把握するだけにとどまり、社会的事象相互のつながりを明らかにする段階までには至っていない。
- ・追究する過程において、自分たちの住んでいる地域の社会的事象と学習に関連する群馬県の概要や課題、県として進めている取組の資料を活用し、群馬県全体の様子や取組を比較・関連付けて考えることにより、社会的事象が持つ多様な面に気付かせる。

- ・ 追究する過程において、地域社会のために地域の人々が行っている取組の資料を活用し、自分たちの住んでいる地域のために自分にできることを考え、社会的事象を異なった立場から考察させる。
- ・ 考え・まとめる過程において、自分たちの住んでいる地域の社会的事象を調べて分かったことと、資料集「ぐんまくん」を活用しながら考えたことを基に、特色としてどのようなことが見いだせるかをまとめ、グループで意見交換することにより、社会的事象の特色を広く捉えさせる。

3 研究との関わり

香川県教育センター(2011)の研究によると、観察や調査・見学と関連付けて資料を活用する力を育てる指導を行うことにより、様々な視点で社会的事象を捉え、社会的事象に対する見方を深めたり広げたりすることができるようになったとある。観察や調査・見学に基づいて写真などの具体的な資料を提示することにより、社会的事象を生活経験と結び付けながら考えることができた。また、観察や調査・見学をして収集した情報を基に絵地図やグラフ、図などの資料を作成し意見交流することにより、社会的事象の特色や相互の関連をとらえることにつながった。岩手大学教育学部附属小学校(2014)の研究によると、自分自身と社会的事象の距離を縮め、切実かつ実感を伴って考えさせるための資料を提示し、人の営みや社会との関わりについて考えることにより、社会的事象を自分事として捉える力を高めることにつながったとある。自分の生活とのつながりや多面的・多角的な考え方に着目した資料を提示し、それを基に社会との関わり方について見つめ直すことで、社会的な見方や考え方を広げることができたとある。

以上の先行研究から、社会的事象の特色や相互の関連について考える力を高めるためには、資料を効果的に活用しながら社会的事象を比較・関連付け・総合する活動を行うことが有効であることがわかった。しかし、小学校の地域学習において、社会的事象の特色や相互の関連について考える力を高めるためにどのような資料を取り入れるとよいかは、十分に明らかにされていない。そこで、社会的事象の特色や相互の関連について考える力を高めるために、社会的事象について「群馬県全体では」という広い視野から考える資料集「ぐんまくん」を作成し、活用しながら自分たちの住んでいる地域の社会的事象を考える学習の有効性を明らかにする研究を行うことは、有意義なことだと考える。

4 単元の目標

- ・ 地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事の様子や、それらには地域の生産活動やまちの発展、人のまとまりなどへの願いが込められていることを理解し、地域社会に対する誇りと愛情を持つようとする。
- ・ 地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事から学習問題を見だし、見学・調査したり、保存・継承に携わる人から話を聞いたりして調べたことを作品にまとめるとともに、文化財や年中行事に込められた地域の人々の願いや保存・継承するための努力について考え、表現する。

5 指導計画 (全 10 時間予定)

評価 規 準	関心・意欲・態度	地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事に関心をもち、見学や調査活動を通して意欲的に調べ、これらへの愛着を持って、その保存・継承について考えようとする。	
	思考・判断・表現	地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事について、学習問題や予想、学習計画を考え、表現するとともに、文化財や年中行事に込められた地域の人々の願いや保存・継承するための努力について思考・判断したことを適切に表現している。	
	観察・資料活用の技能	地域の文化財や年中行事を見学・調査したり、保存・継承に携わる人から話を聞いたりして必要な情報を集めて調べたことを作品にまとめている。	
	知識・理解	地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事の様子や、それらには地域の生産活動やまちの発展、人々のまとまりなどへの願いが込められていることを理解している。	
時間 過 程	資料集「ぐんまくん」 で提示する主な項目	主な学習活動	

第1時	つかむ		<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの住んでいる地域の祭りや年中行事、古くから残る建物などの写真を見て、知っていることや疑問に思ったこと、自分たちが参加した経験を発表する。 地域にはどんな古い物や続いていることがあるのか話し合う。 地域に残る古い物や参加したことがある祭りや年中行事を基にくわしく調べることを決める。 学習問題をつくり、調べる方法を話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><学習問題>地いきに残る古い物には、どんな願いが込められ、どのように受け継がれてきたのでしょうか。</p> </div>
第2時～第7時	追究する	<ul style="list-style-type: none"> 大切な言葉の説明「文化財」 大切な言葉の説明「祭り」「郷土芸能」「年中行事」 群馬県の概要「群馬県の文化財」 群馬県の取組「文化財保護に対する群馬県の取組」 	<ul style="list-style-type: none"> 地域に古くから残る建物などの文化財を見学して調べる。 見学したことを歴史発見メモに記録する。 記録した歴史発見メモを基にして歴史発見カードにまとめる。(2時間) 昔から続く地域の年中行事をよく知る人に聞き取り調査をして調べる。 聞き取りしたことを歴史発見メモに記録する。 記録した写真や歴史発見メモを基にして歴史発見カードにまとめる。(2時間) 歴史発見カードを基に個人で調査結果をまとめる。 個人でまとめたことをグループの中で紹介し合う。 紹介された文化財や祭り、年中行事に込められた昔の人の願いや守り、受け継ぐための努力を考える。 資料集「ぐんまくん」を活用し、群馬県の文化財の特色や保護するための課題を調べる。 文化財保護のために群馬県として進めている取組を調べる。 群馬県が文化財保護のための取組をしている理由を考える。
第8時～第10時	考え・まとめる	<ul style="list-style-type: none"> 自分にできること「地域に残る文化を受け継ぐために人々がしていること」 	<ul style="list-style-type: none"> これまでに調べて分かったことや昔の人の願いを基にして、ふるさとれきしマップにまとめる。 まとめたふるさとれきしマップから、これから残していきたいことやみんなに伝えたいことを話し合う。 資料集「ぐんまくん」を活用し、地域に残る古い物を受け継ぎ守るために人々が行っている取組の良いところを見いだす。 実現するためにはどのような工夫をすればよいかグループで話し合い、地域に残る古い物を受け継ぐために自分にできることを考える。 地域に残る古い物を受け継ぐために自分にできることをグループで紹介しながら意見交換する。 これまでに調べたことを基に学習課題に対する答えやこの学習で学んだことを文章にまとめる。 学習課題に対する答えやこの学習で学んだことをグループで意見交換する。

<資料集「ぐんまくん」で提示する主な項目>

- 大切な言葉を説明している資料
- 群馬県の文化財の概要や文化財保護の課題の資料
- 文化財保護に対する群馬県の取組の資料
- 地域に残る文化を受け継ぐために人々が行っている取組の資料

(1) 1時間目／10時間

① ねらい

地域に残る古い物や地域の人々が受け継いできた祭りや年中行事について調べたいことや調べる方法を考え、学習課題をつくることができる。

② 準備（教師）ワークシート

（児童）教科書、副読本、資料集「ぐんまくん」、ノート

③ 展開

学習活動 (・予想される児童の反応)	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 〈評価〉)
1 古くから残る建物や祭り、年中行事などの写真を見て、知っていることや疑問に思ったこと、自分が参加したことがある経験を発表する。 2 自分たちの住んでいる地域には、どんな古い物や昔から続いていることがあるのか話し合う ・古い建物がある。 ・昔から続いている祭りがある。 ・地域に伝わる行事がある。	15	○見たり、参加したりした経験を自由に自由に発表させる。 ○自分たちの住んでいる地域には、古くから伝わる文化財や祭り、年中行事が今も残っていることに気付かせる。
3 見つけた古い物の中からくわしく調べたいことを話し合う。 ・長く伝えられている物を調べたい。 ・人々の願いが込められている物を調べたい。	10	○グループごとに調べたいことを話し合わせる。
4 学習課題をつくり、調べる方法を話し合う。	17	
<学習課題>地域に残る古い物には、どんな願いが込められ、どのように受け継がれてきたのでしょうか。		
・古い建物を見学する。 ・祭りや年中行事をしている人やよく知っている人に話を聞く。 5 学習課題の答えを予想する。 ・昔の村にたくさんの子供が生まれ、もっと子供が生まれてほしいと住む人々が願い、塔をつくった。 ・たくさんお米が取れたので来年も取れてほしいという昔の農家の人の願いが込められて、祭りをするようになった。		○教科書の「調べること」「調べ方」「まとめ方」を参考にしながら、どのように調べるかを考えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> ◇興味・関心を持って、単元を貫く学習課題を設定している。(ノート)【関心・意欲・態度】 </div> ○これまでの学習や知識、経験を基に学習課題の答えを予想させる。 ○楽しくなるからという理由で祭りや年中行事をするのではなく、それぞれに込められた願いを予想させる。
6 学習のまとめをし、次時の学習を知る。	3	○本時の学習を振り返り、分かったことをノートに書くよう指示する。 ○次時に、地域に残る古い建物などを実際に見学することを伝える。

(2) 2・3時間目／10時間

① ねらい

地域に古くから残る建物などの文化財を見学し、その歴史を理解し、保存に取り組む人々の思いに気付くことができる。

② 準備（教師）ワークシート

（児童）教科書、副読本、資料集「ぐんまくん」、ノート

③ 展開

学習活動 (・予想される児童の反応)	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
1 本時の学習課題をつかみ、追究の見通しを持つ。	2	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <学習課題>古くから残る建物などの文化財を見学し、どのように守られているか考えよう。 </div>		
<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の見学をしたり、詳しい人から話を聞いたりしながら考えよう。 		
2 文化財の見学で何を見たり、聞いたりするかを確認しながら、歴史を発見するための見学・質問のポイントをつくる。	8	○学習課題の答えを探すために見学で何を見たり、聞いたりすればよいかを確認しながら、見学・質問のポイントをつくる。
3 古くから残る建物などの文化財を見学して調べ、見学したことを歴史発見メモに記録する。 <ul style="list-style-type: none"> ・建物の壁は木で作られていて、とても古い。 ・塔には屋根がついていて、絵が書かれている。 ・石に文字が書かれている。 ・約 400 年前に作られた。 ・お坊さんが住み、仏様を拜むために作られた。 ・先祖を供養するために作られた。 ・道の行き先を歩く人に知らせるために作られた。 ・古い建物けどしっかり建っていて立派だ。 ・古い物なのに壊れていない。 ・作られてから約 600 年も経っているなんて驚いた。そんなに大切な物なのか。 ・地域の人が掃除をしている。 ・近くに住んでいる人々が代々受け継いで守っている。 ・大切な文化財だから守ってきた。 	57	○調べる文化財として校区内の「増信寺」「応永の塔」「一丁目道標」を取り上げ、見学する。 ○藤岡市職員や増信寺住職に解説員として、文化財の解説や児童の質問への回答をしてもらう。 ○文化財の外観や様子、特徴や秘密などが観察できるよう助言する。 ○見学・質問のポイントを用いて、「いつからあるか」「何に使われているか」「込められた願いは何か」「保存のためにどんな努力をしているか」など、学習課題の答えに結び付く質問ができるよう助言する。 ○調べているときは「見て分かったこと」「聞いて分かったこと」「大切だとおもったことや人に伝えたいこと」などを歴史発見メモに記録させる。
4 記録した歴史発見メモを基に歴史発見カードにまとめる。	20	○見学後は歴史発見カードに分かりやすく整理させる。 ◎記述が進まない児童には、歴史発見メモを基に文化財がどのように守られているかを書くよう助言する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ◇古くから残る文化財の保存に取り組む人々の思いに気付き、歴史発見メモに書いている。(ワークシート)【知識・理解】 </div>
5 学習のまとめをし、次時の学習を知る。	3	○本時の学習を振り返り、分かったことをノートに書くよう指示する。 ○次時に、昔から続く地域の祭りや年中行事をよく知る人に学校に来てもらい、聞き取り調査をすることを伝える。

(3) 4・5時間目／10時間

① ねらい

昔から続く地域の祭りや年中行事をよく知る人に聞き取り調査をし、その歴史を理解し、祭りや年中行事に込められた願いや受け継ぐ人々の思いに気付くことができる。

② 準備(教師) ワークシート

(児童) 教科書、副読本、資料集「ぐんまくん」、ノート

③ 展開

学習活動 (・予想される児童の反応)	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
1 本時の学習課題をつかみ、追究の見通しを持つ。	2	
<p><学習課題>昔から続く祭りや年中行事をよく知る人の話を聞き、どのような願いが込められているか考えよう。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・文化財を調べた時と同じやり方で考えよう。 		
2 祭りや年中行事をよく知る人の話の聞き取り調査で何を見たり、聞いたりするかを確認しながら、歴史を発見するための見学・質問のポイントをつくる。	8	○学習課題の答えを探すために見学で何を見たり、聞いたりすればよいかを確認しながら、見学・質問のポイントをつくる。
3 昔から続く祭りや年中行事をよく知る人の話を聞いて調べ、聞いたことを歴史発見メモに記録する。 <ul style="list-style-type: none"> ・御輿を担いで町を練り歩いている。 ・山車に乗り、太鼓を叩いたり、笛を吹いたりする。 ・藤岡の町内に住んでいる人が参加する。 ・たくさんの人が山車を引いている。 ・町内に住んでいる大人が、太鼓や笛の演奏を子どもに教えている。 ・藤岡祭りを大切に守り、藤岡の発展を願い、受け継いでいこうという気持ちがあるから長く続けている。 ・藤岡祭りがずっと続いてほしいからお囃子の保存会をつくった。 ・藤岡祭りを子どもにも受け継いでほしいと思っているから、子どもたちに太鼓や笛の演奏を教えている。 ・どんどやきは、小正月の1月15日に、正月飾りや書き初めを持ち寄って燃やす。残り火で焼いた団子を食べると、1年間健康でいられるという言い伝えがある。 	57	<p>○調べる祭りや年中行事として校区内で行われる「藤岡祭り」「どんどやき」を取り上げ、聞き取り調査をする。</p> <p>○藤岡祭りやどんどやきを運営する人や祭囃子保存会の人に解説員として来校してもらい、祭りや年中行事の解説や児童の質問への回答をしてもらう。</p> <p>○祭りや年中行事の様子、特徴や秘密などが観察できるよう助言する。</p> <p>○見学・質問のポイントを用いて、「いつから行われているか」「長く続くわけは何か」「込められた願いは何か」「受け継ぐための努力は何か」など、学習課題の答えに結び付く質問ができるよう助言する。</p> <p>○調べているときは「見てわかったこと」「聞いてわかったこと」「大切だとおもったことや人に伝えたいこと」などを歴史発見メモに記録させる。</p>
4 記録した歴史発見メモを基に歴史発見カードにまとめる。	20	<p>○聞き取り後は歴史発見カードに分かりやすく整理させる。</p> <p>◎記述が進まない児童には、祭りや年中行事に込められた願いについて歴史発見メモを基に書くよう助言する。</p>
<p>◇昔から続く祭りや年中行事に込められた願いやそれを受け継ぐ人々の思いに気づき、歴史発見メモに書いている。 (ワークシート)【知識・理解】</p>		
5 学習のまとめをし、次時の学習を知る。	3	<p>○本時の学習を振り返り、分かったことをノートに書くよう指示する。</p> <p>○次時に、見学や聞き取り調査で分かったことをグループで紹介し合う学習をすることを伝える。</p>

(4) 6時間目／10時間

①ねらい

地域に残る文化財や祭り、年中行事に込められた人々の願いや保存のための人々の努力を考えることができる。

② 準備（教師）ワークシート

（児童）教科書、副読本、資料集「ぐんまくん」、ノート、

③ 展開

学習活動 (・予想される児童の反応)	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
1 前時までを振り返りながら本時の学習課題をつかみ、追究の見通しを持つ。	2	
<p><学習課題>見学や聞き取り調査で分かったことをグループで紹介し、地域の文化財や祭り、年中行事にはどんな願いが込められているか、また、守り、受け継ぐためにどんな取組をしているか説明しよう。</p>		
・見学や聞き取り調査で分かったことを基に説明しよう。		
2 歴史発見カードを基に調査結果をワークシートにまとめる。	15	○歴史発見カードを基に見学や聞き取り調査で調べた増信寺、応永の塔、一丁目道標、藤岡祭り、どんどやきの特色や込められた願い、守るための人々の努力について表にまとめさせる。
3 個人でまとめたことをグループ内で説明しながら紹介する。 4 紹介したことを発表し、自分にはない考えを加筆・修正する。	12	○グループで紹介し合い、情報を共有させる。
5 地域の文化財や祭り、年中行事には、どんな願いが込められ、守り、受け継ぐためにどんな取組をしているか考え、ワークシートに書く。 ・文化財には、人々の暮らしをよくしたいという願いが込められている。 ・祭りには、お米がとれるようにという願いや町を発展させたいという願いが込められている。 ・年中行事には、人々が病気にならず元気な暮らしをしたいという願いが込められている。 ・文化財や年中行事などを大切に思い、受け継いでいこうという気持ちを持ちながら守ってきた。 ・昔や今の人々が助け合いながら守り、受け継いできた。	10	○地域に残る文化財は、よりよい生活をしたと願う先人の思いから作られたことを共感的に捉えさせる。 ○地域に続く祭りや年中行事は、先人が地域社会のために行った取組であることに気付かせる。 ○先人の様々な思いや願いが集まり、受け継ぐための工夫や努力によって、現在の自分たちの住んでいる地域が成り立っていることに気付かせる。
6 ワークシートに書いたことを発表し、自分にはない考えを加筆・修正する。	3	○自分と友達の考えを比較させ、自分にはない考えに気付かせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">◇地域の文化財や祭り、年中行事に込められた人々の願いや保存のための人々の努力を考え、ワークシートに書いている。(ワークシート)【思考・判断・表現】</div>
7 学習のまとめをし、次時の学習を知る。	3	○本時の学習を振り返り、分かったことをノートに書くよう指示する。 ○次時に、群馬県の文化財の特色や文化財を保護するために進めている取組について考える学習をすることを伝える。

(5) 7 時間目 / 10 時間

① ねらい

群馬県の文化財の特色や課題を調べ、群馬県が文化財の保護に取り組む理由を考えることができる。

② 準備（教師）ワークシート

（児童）教科書、副読本、資料集「ぐんまくん」、ノート、

③ 展開

学習活動 （・予想される児童の反応）	時間	指導上の留意点及び支援・評価 （◎努力を要する児童への支援 〈評価〉）
1 本時の学習課題をつかみ、追究の見通しを持つ。	2	
<p><学習課題>群馬県の文化財を知り、文化財を保護するために進めている取組について考えよう。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・資料集を使って群馬県全体の文化財については、どうなっているか考えよう。 		
<p>2 資料集「ぐんまくん」を使いながら群馬県の文化財について分かったことや群馬県の文化財を守っていく上での課題を探し、ワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・群馬県には、国や県が保存することにした文化財が557件ある。 ・文化財の種類は、「有形文化財」「無形文化財」「民俗文化財」「記念物」がある。 ・旧富岡製糸場の世界遺産も文化財である。 ・群馬県の国登録文化財は、300棟あり、他の都道府県と比べて多い。 ・なぜ文化財が大切なのか地域に住む人に意外と知られていない。 ・文化財を身近に感じるができず自分たちの物という意識を持ちにくいことが課題である。 ・文化財を保存しようとする人の数が少なくなり、お年寄りが中心のところも多くなっている。 	12	<p>○資料の読み取りから群馬県全体の文化財の特色や文化財を保護する上での課題をつかませる。</p>
<p>3 ワークシートに書いたことをグループ内で説明しながら意見交換する。</p> <p>4 意見交換したことを発表し、自分にない考えを加筆・修正する。</p>	8	<p>○新しく気付いた考えを書き加えるよう指示する。</p>

<p>5 資料集「ぐんまくん」を使いながら文化財を保護するために群馬県が進めている取組を探し、分かったことや考えたことをワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 群馬県文化財保護条例を作って、文化財を守ろうとしている。決まりがあると、文化財を守れる。決まりがないと、植物を取ったり、地面を掘ったりして文化財が壊される。 文化財保護審議会で新しい文化財を決めると、保存される文化財が増え、壊される心配が減る。 群馬古墳総合調査をして古墳を調べると、自分たちが住む地域の歴史のよさが分かる。調査をしないで古墳について今調べないと、まだ見付かっていない古墳がそのままになり、いつか壊されてしまう。 伝統文化継承事業をすると、地域に残る古い物を知ることができる。継承事業をしないと、地域に伝わる文化や風習を知る人が少なくなり、なくなってしまふ。 文化財を保護する取組をしなかったら、文化財がなくなってしまう。取組をすると文化財が残り、過去の生活における人々の願いを知ることができる。 	14	<p>○群馬県が文化財を保護する取組をしなかったら文化財はどうなるか考えることを通して、群馬県が文化財の保護に取り組んでいる理由に目を向けさせる。</p> <p>◎記述が進まない児童には、群馬県が文化財を保護する取組をすると、どんな良いことがあるか考えさせ、記述を促す。</p> <p>○自分たちの住んでいる地域の文化財について調べたことと群馬県の様子や取組を比較・関連付けながら考えるよう促す。</p>
<p>6 ワークシートに書いたことを発表し、自分にない考えを加筆・修正する。</p>	6	<p>○自分と友達の考えを比較させ、自分にない考えに気付かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇群馬県が文化財の保護に取り組む理由を考え、ワークシートに書いている。(ワークシート)【思考・判断・表現】</p> </div>
<p>7 学習のまとめをし、次時の学習を知る。</p>	3	<p>○本時の学習を振り返り、分かったことをノートに書くよう指示する。</p> <p>○次時に、これまでに調べて分かったことや考えたことをふるさとれきしマップにまとめる学習をすることを伝える。</p>

(6) 8時間目/10時間

① ねらい

これまでに調べて分かったことや昔の人の思いや願いをふるさとれきしマップにまとめ、地域の人々が受け継いできた文化財や祭り、年中行事には、地域の発展やまとまりなどへの人々の思いや願いが込められていることを理解することができる。

② 準備(教師) ワークシート

(児童) 教科書、副読本、資料集「ぐんまくん」、ノート

③ 展開

学習活動 (・予想される児童の反応)	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
1 本時の学習課題をつかみ、追究の見通しを持つ。	2	
<p><学習課題>地いきに残る古い物について、ふるさとれきしマップにまとめ、いつまでも地域に残していきたいこと(物)を考えよう。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> これまで調べてきたことを基にふるさとれきしマップを作り、その中から残したいこと(物)を考えよう。 		

<p>2 ふるさとれきしマップの作り方を確認する。</p> <p>3 グループでふるさとれきしマップを作る。</p>	22	<p>○教科書のまなび方コーナーを参考にしながら、ふるさとれきしマップの作り方をつかませる。</p> <p>○これまでの学習で作成した物（歴史発見メモ、歴史発見カード、ワークシート）を活用しながらグループごとに効率よく白地図にまとめるよう助言する。</p>
<p>4 ふるさとれきしマップを作って、地域に残る古い物について分かったことや考えたことをワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの住んでいる地域には、文化財や祭り、年中行事があり、長く残ったり、続いたりしている。 ・文化財や祭り、年中行事には、昔の人々の願いが込められている。 ・文化財や祭り、年中行事を守ってきた人がいるから今も残っている。 ・今回調べた他にも文化財や祭り、年中行事が自分たちの住んでいる地域にあるか調べたい。 ・文化財や祭り、年中行事を自分も守っていききたい。 ・なくなった文化財や祭り、年中行事は多いのかな。 	6	<p>○分かったことや考えたことの他に疑問なども書くよう促す。</p> <p>○ふるさとれきしマップの作成を通して考えたことをワークシートに記述させ、自分の考えを広げさせる。</p>
<p>5 まとめたふるさとれきしマップからいつまでも地域に残していきたいこと（物）と理由を考え、ワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に残る古い建物はみんな残したい。壊れると二度と見ることができないから。 ・祭りを残したい。自分もずっと続けてきた祭りを受け継ぎたいから。 ・どんどやきを残したい。病気などにかからず1年間元気に過ごせることを願う行事はこれからも地域には大切だから。 	5	<p>◎残していきたい理由の記述が進まない児童には、文化財や祭り、年中行事に込められた願いや守るために人々がしてきた努力に目を向けさせ、大切さを感じさせながら記述を促す。</p>
<p>6 ワークシートに書いたことをグループ内で説明しながら意見交換する。</p> <p>7 意見交換したことを発表し、自分にない考えを加筆・修正する。</p>	7	<p>○新たな発見や感想をグループで紹介し合い、友達の考えに触れさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇地域の文化財や祭り、年中行事には、地域の発展やまとまりなどへの人々の思いや願いが込められていることに気づき、ワークシートに書いている。(ワークシート)【知識・理解】</p> </div>
<p>8 学習のまとめをし、次時の学習を知る。</p>	3	<p>○本時の学習を振り返り、分かったことをノートに書くよう指示する。</p> <p>○次時に地域の文化を受け継ぐために自分にできることを考える学習をすることを伝える。</p>

(7) 9時間目／10時間

① ねらい

根拠を明らかにしながら地域の文化を受け継ぐために自分にできることを考えることができる。

② 準備（教師）ワークシート

（児童）教科書、副読本、資料集「ぐんまくん」、ノート

③ 展開

学習活動 (・予想される児童の反応)	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
1 本時の学習課題をつかみ、追究の見通しを持つ。	2	
<学習課題>地域に残る文化を受け継ぐために、自分にできることを考えよう。		
・資料集を使ってどんなことが自分にできるか考えよう。		
2 なぜ地域に残る文化を受け継ぎ、守っていくべきなのか理由を考え、ワークシートに書く。 ・古い物は一度なくしてしまうと二度と見ることができなくなってしまうから。 ・古い物には昔の人の願いや思いが込められているから。 ・昔の人の努力があったからこそ今も残っているから。 3 ワークシートに書いたことを発表し、自分にない考えを加筆・修正する。	7	○これまでに学習してきたことを基に具体的に記述するよう助言する。 ◎記述が進まない児童には、なぜ古い物は今でも地域に残っているのか理由を考えるよう促し、それを基に書くよう助言する。 ○自分と友達の考えを比較させ、自分にない考えに気付かせる。
4 資料集「ぐんまくん」を使いながら地域の文化を受け継ぐために人々が行っている取組の良いところや大変なところを考え、ワークシートに書く。	16	
5 ワークシートに書いたことをグループ内で説明しながら意見交換する。 6 意見交換したことを発表し、自分にない考えを加筆・修正する。	10	○新しく気付いた考えを書き加えるよう指示する。
7 地域に残る文化を受け継ぐために自分にできることを考え、ワークシートに書く。 8 ワークシートに書いたことを発表する。	7	○地域の文化を受け継いでいくための方策について実現するための工夫も書かせ、自分なりのプランを考えさせる。 ○地域の文化を未来に向けて今後も残していくために自分にできることを考える活動を通して、自分自身もその継承者である意識を持たせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ◇明確な根拠(実現可能性)を示しながら地域の文化を受け継ぐために自分にできることを考え、ワークシートに書いている。(ワークシート)【思考・判断・表現】 </div>
9 学習のまとめをし、次時の学習を知る。	3	○本時の学習を振り返り、分かったことをノートに書くよう指示する。 ○次時に、単元を貫く学習問題の答えを導き出す学習をすることを伝える。

(8) 10時間目／10時間

① ねらい

地域には、人々の思いや願いが込められた文化財や祭り、年中行事があり、昔も今も人々によって大切に受け継がれていることを考えることができる。

地域に残る文化財や祭り、年中行事に関心を持ち、自分たちも地域の発展を願い、文化財や祭り、年中行事を保存・継承していこうとする意欲を持つことができる。

② 準備(教師)ワークシート

(児童)教科書、副読本、資料集「ぐんまくん」、ノート

③ 展開

学習活動 (・予想される児童の反応)	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
1 本時の学習課題をつかみ、追究の見通しを持つ。	2	
<学習課題> 「ふるさとれきしまップ」の学習の学習課題の答えをまとめ、友だちに説明しよう。		
・これまで学習してきたことを基に答えをまとめ、説明しよう。		○単元を貫く学習課題の内容を確認し、どのように追究すればよいかの見通しを具体的に持たせる。
2 自分たちの住んでいる地域には、どんな文化財や祭り、年中行事が残るのか振り返る。 ・増信寺 ・応永の塔 ・一丁目道標 ・藤岡祭り ・どんどやき	3	○実際に調べてきた文化財や祭り、年中行事を振り返らせる。
3 学習課題の答えや学習をして学んだことをワークシートに書く。	25	○これまでに調べ記入してきたワークシートを基に学習課題の答えを導き出し、ワークシートにまとめるよう指示する。 ◎記述が進まない児童には、実際に調べた文化財や祭り、年中行事には、人々のどんな願いが込められているかをワークシートから探し、書くよう促す。
4 ワークシートに書いたことをグループ内で説明しながら意見交換する。 5 意見交換したことを発表し、自分にない考えを加筆・修正する。 ・ふるさとれきしまップの学習をして、自分たちの住んでいる地域には、古くから残る文化財や受け継がれている祭りや年中行事があることが分かった。それらには、「地域が発展してほしい」「人々が豊かになるように」という願いが込められている。また、地域の人々がこれらを残そうと努力してきたから古い物が今でも残っている。自分たちも文化財や祭り、年中行事を守り、受け継いでいきたい。	15	○新しく気付いた考えを書き加えるよう指示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ◇地域には、人々の思いや願いが込められた文化財や祭り、年中行事があり、大切に受け継がれていることを考え、ワークシートに書いている。(ワークシート)【思考・判断・表現】 </div>
6 学習のまとめをする。	3	○本時の学習を振り返り、分かったことをノートに書くよう指示する。